

## 工事に伴う近隣センター閉館 について

前号のリノベニュースでお知らせしたとおり、改修工事期間中は休館となりますが、一部機能については別の場所に移転し業務を継続します。ご不便をお掛けしますが、ご理解・ご協力をお願いします。

■休館期間／平成31年1月～平成32年3月末（予定）

■継続する業務の移転先



## リノベニュース

をご愛読下さい。



### お知らせします！

ワークショップの様子や施設改修の進捗状況をいち早くお知らせします。参加者の声やアンケートの結果、さらに平面図や建築模型なども、紙面でご紹介する予定です！



### お寄せください！

是非地域のみなさまのご意見をお寄せください。

ご意見等は随時ご意見箱（近隣センター内に設置）やメール（タイトル下を参照）でも受け付け、ワークショップ時の検討材料として活用させていただきます。

南部近隣センター  
リノベーション事業  
特設サイト **開設！**



<http://www.city.kashiwa.lg.jp/soshiki/053000/p043375.html>

住民と行政が共に考えるリノベーション・ワークショップ

2018年1月10日 第3号

# 南部近隣センター リノベニュース

発行：柏市役所地域支援課 問合せ：04-7167-1126 Fax 04-7167-8103 mail: info-chksh@city.kashiwa.chiba.jp

## 私たちの近隣センターには何が必要か!?



12月2日（土）13時から南部近隣センター2階会議室において、第2回のワークショップが開催されました。参加者は、「新しい近隣センターの『売り』を考えよう！」のテーマのもと、熱心に議論しました。先に行われた類似施設見学会の知見も加わり、私たちの近隣センター像が、おぼろげに見えてきました！



## 類似施設見学会を開催！

11月19日（日）三郷市のピアラシティ交流センターと、柏市のパレット柏の2施設を見学しました。



## 事業のスケジュール

ワークショップは全6回。アイデア出しから始めて、必要な機能を考え、ゾーニング（レイアウト）、平面図まで、皆さんと決めていきます。



第2回  
リノベワークショップ

# 第2回WS 新たな近隣センターの「売り」を考えよう！

第2回

WSの流れ



ステップ1  
あいさつ

ステップ2  
前回の振り返りと  
類似施設見学会報告

ステップ3  
建物改修の前提条件

ステップ4

新たな近隣センターの  
「売り」を考えよう！

ステップ5

全体発表と  
質疑応答

第3回WS  
1/28



ファシリテーター

岡山理科大学  
平山文則 教授

**■ステップ1～あいさつ**

柏市役所 地域づくり推進部 星雅之次長の挨拶でスタート。

第2回ワークショップの参加者は40人。2回目なので、まだ少し緊張感がありますが、皆さんの意気込みが伝わります。

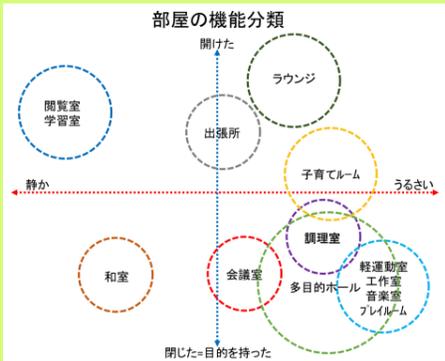
**■ステップ2前半～前回の振り返り**

前回の意見交換の内容をおさらいし、どんな意見が多かったか確認しました。

○どんな機能がほしいか記入してもらった「なりきり意見記入シート」では、「ラウンジ（フリースペース）」「活動ができる部屋（会議室など）」が多くありました。

○既存施設の必要度を順位付けしてもらったら「出張所」が1位、「図書館分館」が2位、「みんなの広場」が3位でした。

○各グループでの発表内容では、「活動ができる部屋（会議室など）」「ラウンジ（フリースペース）」「図書館」に関する意見が多くありました。



「皆さんから挙げられた部屋の機能は上図のように分類できます。ラウンジ（フリースペース）を入れるとすると新設になります。これらを参考にゾーニングを考えましょう」と平山先生。

### ■ステップ2後半～施設見学会の報告

11月19日・27日に行った類似施設見学会の報告を行いました。

○見学施設 ピアラシティ交流センター（三郷市）  
バレット柏（柏市）

○参加者の感想（主なもの）

- ・明るい雰囲気南部近隣センターに生かしたい
- ・ガラス張りは明るい、夏暑く冬寒いことがわかった
- ・管理費のことも考えなくてはならない
- ・公園との一体化は大切だと思った

（施設見学会の報告は4面に掲載しています）

**■ステップ3～建物改修の前提条件**

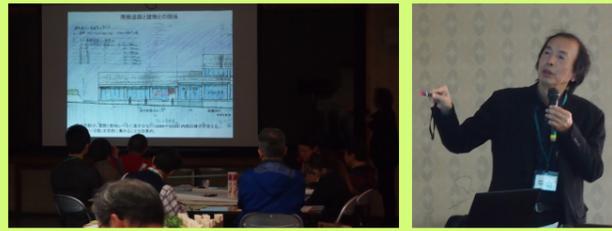
市民アンケートや第1回ワークショップでの意見を踏まえ、ファシリテーターから、今後の議論の前提条件として次の2案が示されました。

<建物改修の前提条件の案>

- ①敷地への車両アクセス改善要望が極めて多い。  
→車両を直接敷地内に入れる方法を考える
- ②用がなくても利用できる多目的空間への期待が高い。  
→ラウンジ、フリースペースを先に確保

この前提条件を踏まえ、「近隣センター～駐車場～公園」のアクセスを考えるためのたたき台（模型とゾーニング図）が示されました。

皆さんの関心はとても高く、模型を囲んで意見が飛び交いましたが、「車の動線を工夫したい」という声が多く、再度、事務局で案を作ることになりました。



## こんな意見がありました！



### 公園との一体化を「売り」にしたい！

- ・公園が眺められる窓のあるラウンジ
- ・ゆったりコーヒーを飲みながら外が見える
- ・ガラス張りのオープンな空間、カフェ
- ・公園と近隣センターの駐車場をつなげる

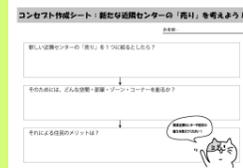
### 気軽に集える施設にしたい

- ・休憩できる、お茶できるラウンジ
- ・目的に応じて仕切れるラウンジ
- ・子供の集まる場所には高齢者が集う
- ・フリースペース、フリーWi-Fi
- ・くつろげる読書スペース、幼児向け図書

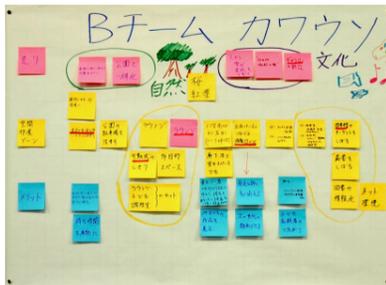
**■ステップ4・5～意見交換と発表**

**＝新しいセンターの「売り」を考えよう＝**

今回のグループワークは、新しいセンターのコンセプトを考える作業。センターの「売り」を何にする？ そのためにどんな部屋や空間が必要？ 利用者のメリットは？ 各々でシートに書き、グループ内で発表して模造紙にまとめ、全体発表しました。



公園と一体化した明るい近隣センターで、多世代交流が楽しめたら

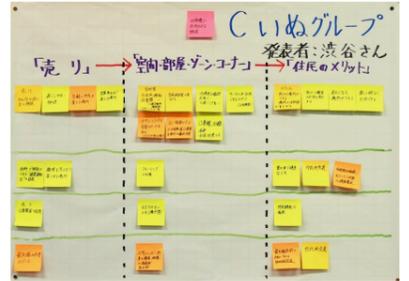


公園の自然を生かし、文化を感じられる施設にしたい

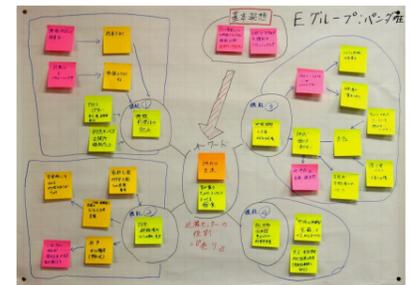


\*各模造紙の詳細は、柏市ホームページでご覧いただけます。

誰にとっても過ごしやすい、30年後に利用される施設であってほしい



緑あふれる安全な空間の中で多世代や子育てで交流できたら



文化活動や子育ての場として活用し、皆が集うきっかけづくりが出来るように



### こんなことも「売り」になる

- ・ギャラリーの新設（廊下空間をギャラリーに）
- ・運動しやすい場所。公園も歩きやすく
- ・最先端の作業室（映像編集や大型出力機、製本機、電子書籍）
- ・健康体操ができる（フローリングの部屋）
- ・地域の宝箱になる
- ・行政サービスの拠点（出張所、地域包括支援センター、地域いきいきセンター）
- ・食を通じた地域交流
- ・多目的 " 協創 " の場

### 「感想カード」から

- ・公園と一緒に考える必要は本当にあると思う。
- ・最初はパソコン教室をやってほしくて参加したが、全体を通して考えなければならないことがわかった。
- ・だんだん進んでいく雰囲気だけでも満足。
- ・30年後の姿と現在の要望とのギャップをどのように埋めるか、なかなか難しい。
- ・新しい近隣センターが具体化してくる。次回のゾーニングが楽しみ。
- ・北側入口ができますか？ できるといいな。
- ・機能を全部取り入れられないと思うので、プライオリティ※を考えます。

※プライオリティ…優先順位のこと